

2020年度(令和2年度)学校評価自己評価表

山 野 中学校区	校番	福山市立 山野小 学校
最終更新日		2020年(令和2年)4月1日

I 福山市

ミッション：福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
 ビジョン：「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容 小規模校の特性を生かし、子どもをしっかりと鍛え、力をつけてくれている。その姿は、文化祭等の発表においても見ることができた。地域行事へ児童生徒が積極的に参加することに感謝している。	児童の現状 町外からの転居者やバス等で通学している児童がいる。 集団になじめず、少人数で学習できる環境を求めて本校に転入した子ども、社会性や学力に課題がある子どももいる。	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”) ○問題解決力 ○協調性・柔軟性 ○幅広い人間関係を築くコミュニケーション力 ○チャレンジ精神	めざす子ども像 (義務教育修了時の姿) ・確かな学力として、自ら学び続ける意欲を持った子ども ・豊かな心として、相手を尊重し、共に高まり合う子ども ・自律として、判断する力と責任ある行動ができる子ども	中学校区として統一した取組等 ○自ら考え、学び合う授業や行事等の取組 ○個に応じたきめ細かい丁寧な指導の徹底 ○幅広い思考力や表現力を育成するための思考・表現活動の充実 ○地域等のふるさと学習の充実
--	---	--	--	---

III 自校

<p>ミッション</p> <p>小・中学校が地域と一体となり、自ら考え、学び合う授業や行事等の取組と個に応じた支援を行うことにより、他律から自律に高めていく。子どものやる気を高め、自己実現に向けて努力する等、地域に誇れる学校となる。</p> <p>学校教育目標</p> <p>確かな学力と豊かな心を持ち、自らたくましく生きる子どもの育成</p> <p>現 状</p> <p><児童生徒> 小人数指導による個に応じたきめ細かい丁寧な指導を通して、学力の定着・向上に取り組んでいる。子どもたちの自律に向けて主体的な学びを進める必要がある。 狭い人間関係の中において、幅広い人間関係づくりや表現力に課題がある。体験活動や地域の方との交流等では、主体者となって取り組む必要がある。 <授業> 「少人数の学びの創造」をテーマに、年間を通じて小中合同授業研究に取り組み、同じ研究主題で授業改善を進めている。子どもの学び意欲が高まる授業について研究を進め、子ども自身が学ぶ喜びが持てる授業を行っていく。</p>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>問題解決力</p> <p>コミュニケーション力</p> <p>協調性・柔軟性</p> <p>チャレンジ精神</p>	<p>めざす子ども像</p> <p>1・2年</p> <p>疑問に対し、自分の考え持てる</p> <p>友だちと仲良くする</p> <p>人の話を聞くことができる</p> <p>好きなことや得意なことに取り組む</p>	<p>3・4年</p> <p>疑問に対し、様々な考えをあることを知る</p> <p>進んで友だちをかかわる</p> <p>人の気持ちを知ることができる</p> <p>好きなことや得意なことを増やす</p>	<p>5・6年</p> <p>疑問に対し、いくつかの視点から物事が考えられる</p> <p>友だちや地域の人と積極的にかかわる</p> <p>人の気持ちになって考えることができる</p> <p>好きなことや得意なことに積極的に増やし、自信をつける</p>
	<p>教科等</p> <p>各教科、及び「総合的な学習の時間」</p> <p>研究 主題・内容等</p> <p>少人数の学びの創造 ～幅広い思考力と豊かな表現力の育成～ ・学びを楽しみ、学びが深まる授業を目指し、子どもが思考・判断・表現できる場の設定と教師の発問の質を追求する。 ・学習意欲を喚起する手立てや支援についての取組をデータ化する。</p>	<p>めざす授業の姿</p> <p>・子ども自らが主体となって学習を進める。 ・子どもの学び意欲が高まる授業を子どもとともに作る。 ・子どもどうしがかかわり、協同して学ぶ授業をめざす。</p>		

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

皆さん朱色

福山市立 山野小 学校

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)			
							□指標に係る取組状況	力を入れた評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	力を入れた評価	達成評価	総合評価
1年目	主体的な学びで確かな学力を身につける	★	新規	児童の学ぶ意欲を大切に、達成感が持てる授業を実践	授業の導入を工夫して、学ぶ意欲を引き出す。	単元末テストで個別目標の達成率85%以上								
1年目	仲間と共に高まり合う		新規	仲間との協調性・柔軟性の育成	課題解決に向け、互いに協力し、話し合う場を設定する。	行事の振り返りカードの達成率90%以上								
4年目	教職員の力を結集し、授業を改善する	★	継続	分かる・できる授業を実践	子どもが追求したくなる授業を蓄積する。 個の実態に応じた授業展開を工夫する。	理解が深まる教材・ワークシートを教科ごとに作成								
5年目	保護者・地域に信頼される学校づくりを進める		継続	保護者・地域の学校信頼度の向上	地域行事への参加と学校便りなどで保護者へ情報を発信する。	通信、HPで行事等の様子をタイムリーに発信								

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]		
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準	
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。